

# 東松島へ 祈りよ届け 東桜学館高生が折り鶴

## 11日、追悼式会場彩る



### 10年

東日本大震災

東根

東日本大震災から10年の節目に合わせ、東根市の東桜学館高（官宏校長）の生徒が7日、同市の友好都市・宮城県東松島市に贈る千羽鶴を制作した。写真。復興への祈りを込め、翼にメッセージを記した約千羽の折り鶴は、11日に東松島市で行われる追悼式の会場に飾られる。

同校の生徒が主体となって昨

年3月に発足した高校生ボランティアサークル「3peace」が企画。同校の生徒会やボランティア委員会にも協力を呼び掛け、約千羽の折り鶴作りに取り組んだ。

3peaceは同校2年生17人で構成。メンバーの多くは小学校時代に東根市緑の少年団のプロジェクトとして、震災で失われた海岸防災林の再生を支援する活動に参加し、自分たちで育てた松苗を東松島市の沿岸に植えた経験を持っている。東郷小時代にプロジェクトに参加した3peace代表の深瀬萌心さん(17)は「被災地の方々の心の傷が癒えてほしいという思いや、復興への思いを折り鶴ならば形にできると思った」と説明する。

3日から取り組みを始め、十分な量の折り紙を確保できなかったためコピー用紙を裁断して使うなど、手作り感があふれる折り鶴を作り上げた。7日は折り鶴をひもでつなぐ作業を実施。翼の部分には「絆」「復興」といった文字をしたため、震災から10年を経ても被災地に寄り添おうというメッセージを伝えている。折り鶴は市交流推進課を通じて東松島市に贈られる。

(小林達也)